

ガラスビード(JIS R 2216準拠)

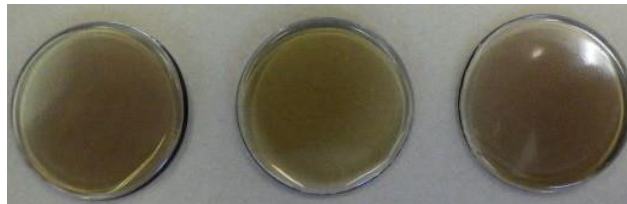
<試料用ガラスビードの作製>

- ・粉末試料と融剤とを1:10(0.4g:4.0g)の割合で混ぜ合わす。
- ・混合物を1050°Cで加熱し、ガラスビードにする。

<検量用ビード>

- ・耐火物技術協会提供の認証値標準物質10個(高アルミナ質はJRRM 300シリーズ)それぞれに融剤を混ぜ、加熱溶解してガラスビードをつくる。

JCRM R034 R035 R036のガラスビード



走査型蛍光X線分析装置(JIS R 2216準拠)

- ・作製したガラスビードを蛍光X線分析装置を用いて分析する。
- ・元素特有の波長におけるX線強度を検量線に当てはめ定量値を得る。
- ・高アルミナ質の定量範囲は下記参照。

JIS R 2216で規定された 高アルミナ質の定量範囲

	高アルミナ質		
SiO ₂	0.1	~	45
Al ₂ O ₃	40	~	95
Fe ₂ O ₃	0.01	~	4
TiO ₂	0.01	~	5
MnO	0.01	~	0.2
CaO	0.01	~	1
MgO	0.01	~	1
Na ₂ O	0.01	~	1
K ₂ O	0.01	~	3

<コメント>

蛍光X線分析法の適用にあたっては、Na₂O、K₂Oの定量下限値に注意する必要があります。

リガク製 ZSX PrimusIV

